

新しい風

平成29年7月12日発行
発行責任者 小宮國暉
事務所 羽村市羽東1-2-9
TEL・FAX:042-554-1555

5月臨時議会、6月定例議会報告
一般質問 『市政を問う』
本会議審議事項、
陳情意見、議員提出議案 討論要旨
一中創立70周年記念誌、寄稿



議会日程

活動日	内 容
5月9日	議会運営委員会（5月臨時議会日程、6月議案取扱審議）
5月15日	正副議長立候補届 議長候補（2名）橋本弘山、馳平耕三、副議長候補（1名）小宮國暉
臨時議会 5月16日	本会議場にて、立候補表明会の後、 正副議長選挙執行 議長：馳平耕三（10対8） 副議長：小宮國暉（9対0） 各選出
議員全員協議会	市長提出議案（2件審議議決・専決処分承認羽村市税賦課徴収条例改正） 各議員の役職決定（各常任委員会、議運、特別委員会、一部組合議会委員）
小宮國暉	副議長、広報委員会委員長、総務委員会、東京たま広域資源循環組合議会 西多摩地域広域行政圏協議会審議会、羽村市基地対策特別委員会、議員会副会 長、議会改革特別委員会委員
高田和登	議会運営委員会委員、厚生委員会、羽村市多摩都市モノレール建設促進及び 公共交通対策特別委員会副委員長、福生病院組合議員、羽村市都市開発公社副 会長、意見書等調整会議委員会派代表、議会改革特別委員会委員
5月23日	正副議長理事者会議（6月議会に向けて） 馳平議長、小宮副議長、橋本議運委員長、並木市長、北村副市長、桜沢教育長
6月定例議会	5月31日議会運営委員会
6月8日（初日）、9日	定例議会・一般質問 高田初日3人目 小宮2日目2人目
6月12日13日15日	本会議一般質問、13日市長提出議案議決、15日補正予算審議議決
6月19日	厚生委員会（陳情1件）、総務委員会（陳情3件審議議決）
6月22日	議会運営委員会、議員提出議案3件取扱（最終日審議-意見書2件、決議1件）
6月26日	広報委員会（一般質問市長答弁掲載記事、市民インタビュー町内会連合会）
6月28日（最終日）	定例議会最終日（陳情3件、提出議案3件審議議決）議員全員協議会 各常任委員会（総務・小宮）行政視察先協議
6月22日	羽村駅西口土地区画整理事業審議会（非公開）審議委員 小宮國暉
7月3日	市民インタビュー、対象 町内会連合会正副会長（総務委員会、広報委員長小宮）

副議長当選挨拶 この度副議長の役職に就くことになり、その重い責務を痛感しております。副議長は議長とともに、議会運営上重要な役割であると認識しております。それゆえ、現在混沌としている経済社会情勢の中、羽村市は行政面でいろいろな諸問題をかかえております。明日の羽村に向かって、新議長とともにスクラムを組み、新しい視点で取り組む所存です。

教育・福祉・環境・コミュニティ・防災分野での活動

“新しい風”小宮・高田はそれぞれ多くの行事に参加し、地域活性化に取り組んでいます。

4月

東小、小作台小入学式 一中入学式
 日野自動車さくら祭り 消防団入退団式 本一東寿会総会
 西口駅前山車曳き合わせ 八雲神社春季例大祭 金刀比羅神社春季例大祭
 吉江友秋氏文部大臣表彰受賞祝賀会 羽村紫芳会総会 ゆとろぎ協働運営市民の会 事業
 報告会、北杜市議員交流会 小作台小P T A総会 小作台西町内会総会
 東地区委員会総会 シニアクラブおざく台西 総会 総合体育大会開会式
 小作台西福祉委員会 郷土研究会「介山忌」講演会 ライオンズクラブ薬物乱用防止教室
 (小作台小) チューリップ生産組合関係者、議会のとびら表紙撮影

5月

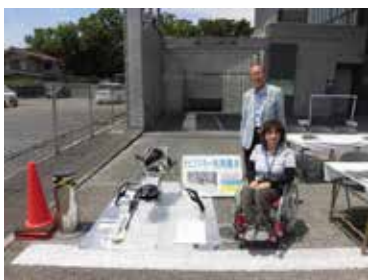
護国神社春季例祭 義援募金活動羽村駅頭 観光協会総会 町内会定例役員会
 ライオンズクラブ「薬物乱用防止教室」(武蔵野小) 羽村駅西口土地権利者の会総会
 羽村市福祉チャリティゴルフ大会 福島県人会総会 商工会通常総代会 西口区画整事
 業東小附近説明会 体育協会事業報告会 運動会(小作台小・西小・東小) 横田羽村友好
 クラブ 本町第一・小作台西町内会市内一斉美化運動 武蔵野小P T A総会
 一中・三中P T A総会 文化協会総会 運動会(栄小・松林小・富士見小) 明るい社会
 づくりを進める会定期総会 環境フェスティバル 福祉文化祭 青梅法人会総会

6月

高齢者レクリエーション 苗取り・田植え体験(地区委員会) 羽村市P T A連合会総会
 羽村一中70周年記念式典 羽村市神社総代会 羽老連ペタンク大会 羽村駅西口土地
 権利者の会定期総会 伝統文化交流事業「高水三山獅子舞」「おわら風の盆」 羽村市防衛
 協会総会 玉川水神社修繕完了報告・東京都水道局報告(水源愛護会) 障害者スポーツレ
 クリエーション 稲荷神社水無月の祓祭 本町他6町内ペタンク大会

7月

流しそうめんを楽しむ会(福祉センター) 東地区委員会、多摩川の清掃、東地区少年
 少女球技大会 小作地区委員会、小作台小周辺の清掃 農ウォーク 消防ポンプ操法訓練
 (第三分団、第六分団) 激励



環境フェスティバル



障がい者スポーツレクリエーション



八雲祭 東町山車



東町神輿



宗禅寺晋山式



岩手・とら舞



ライオンズクラブ
「薬物乱用防止教室」



羽村駅西口・山車の競演

1. 明日のはむらをどのように築いていくのか。

要旨 羽村市第五次長期総合基本計画の後期5年がスタートした。『ひとが輝き、みんなでつくる安心と活力のまちはむら』の基本構想のもと、その実現に向けて取り組んでいる。

2年前よりの取り組みである「まち・ひと・しごと創生計画」羽村市版をさらに充実、発展させることが重要である。

はむらで遊ぼう暮らそうプロジェクト

質問 サイクリングステーションの検討は進んでいるか。また羽村堰上の角地の活用については観光拠点にふさわしい場所である。市内外の人が訪れ、立寄りできる「ミニ道の駅」なる施設をつくり、運営面で民間活力を導入し、飲食をともなったはむらの特産品等の売店を作り、そこで働くひとの中に障害者就労支援を併せ持つ羽村らしい“福祉ふれあいサロン”を提案するがいかがか。



市長 サイクリングステーションについては、「産業振興計画」に掲げている農商工観連携施設の整備と合わせ、一体的な整備を検討する中で、市内の農産物や名産品・特産品を販売し、市の地域資源や観光情報の発信を行う、いわゆる「道の駅」あるいは「まちの駅」のような複合的な機能を有する施設として、候補地も含めた検討を行っている。ご提案の先行取得した羽村堰上の角地の活用については、今年の花と水のまつりにおいて、土日を中心に市内商業者に出店していただき、どのような形で有効な活用ができるかの試験的運用を行いました。これにより、市の産業振興のPRを行うアンテナショップの立地場所としての手ごたえを得ましたので、花と水のまつりの開催期間中に限らず、多くの方が訪れる羽村堰、玉川上水と根がらみ前水田を結ぶ動線上の立地を生かした産業振興拠点とし、サイクリングステーションとの連携も考慮し、土地活用を図っていきたい。

ご提案の障害者就労支援機能を持たせることについては、実施計画を策定する過程の中で、組織横断的に研究していく。今後施設の整備を行う際には、PFI(ピーエフアイ)などの民間活力の活用を視野に入れ、実施計画を策定、整備が完了するまでの間の土地活用方法についても検討していく。

はむらで子育てしようプロジェクト

質問 子育て包括支援拠点の目的、事業内容、事業施設、運営等、開設に向けての基本構想、基本計画の構築はいつごろまでに策定し実現するのか。

市長 「子育て世代包括支援センター」は、保健師等の専門性を活かした母子保健型の相談支援利用者目線に沿った相談支援を利用者支援事業として一体的に実施することで、妊娠・出産期から子育て期までの様々なニーズに対して切れ目のない総合的相談支援を行うことを目的としている。本年4月より、これらそれぞれの業務を開始、子育て世代包括支援センター「羽(は)っぴー」として開設した。

行財政改革の推進について

質問 今年度、第6次羽村市行財政改革基本計画に基づき、具体的スケジュールと、主なる取り組まれたその課題について伺う。

市長 第六次羽村市行財政改革基本計画は、具体的な取組みを展開する。行政改革の面では市民ニーズを把握するためのマーケティング力(りょく)の強化、窓口サービスや庁舎等の利便性の向上、行政評価や経営管理システムの充実、情報システムのクラウド化の検討、職員の人材育成に取り組む

財政改革の面では、「財務マネジメントの強化」、「財政基盤の強化」、「財源の効果的な活用」、「市有資産の有効活用」を4つの柱として、公会計制度の導入、クラウドファンディングの検討や税収の確保による財政基盤の強化、事務経費の見直し、行政財産や普通財産の有効活用、公式キャラクターや知的財産といった無形財産活用の検討などに取組んでいく。

2. 安全・安心の確保に向けた防災への取り組みについて

要旨 安全で安心なまちづくりには、様々な状況・場面を予測(危険予知)し、対応・対策を立て地域防災力の向上に継続的に取り組むことが必要である。防災力の向上を図るためには、市民、自主防災組織、事業者、関係団体等との協力、連携が必要である。

質問 近年、超大型台風やゲリラ豪雨、竜巻などによる突発的自然災害(風水害、土砂災害)が多発している。以前議会でも取り上げているが、この突発的自然災害から市民を守る取り組みをすべきと考える。ハザードマップの見直しについてその進捗状況とポイントは何か。

市長 今年度は、ハザードマップとともに防災マップの見直しを進めている。現在、「水害ハザードマップの手引き」や、「避難勧告等に関するガイドライン」などにより、記載すべき情報の整理を行うとともに、委託事業者との契約に向けて、仕様書の作成作業を進めている。見直しのポイントについては、水防法の改正に伴い、改めて公表された洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫(はんらん)想定区域、避難情報の名称変更等について明記するとともに、防災マップについては、災害対策基本法に基づき各避難所において対応する災害種別の表示と合わせて、一時(いつとき)集合場所、消火栓、医療機関、マンホールトイレ、AED(エーイーディー)、緊急使用指定井戸などの最新の位置や状況について反映し、掲載していくこととしております。

質問 国では、2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向け、ゲリラ豪雨・竜巻等予測の高度化と気象情報の提供プロジェクトに取り組んでいる。羽村市としても、より高度な予測システム・情報を先取りし活用すべきと思うがいかがか。

市長 様々な自然災害に迅速に対応し、被害を最小限に留めるためには、迅速な情報収集と、それに基づく対応が重要であると考えております。現在、情報収集については、気象庁や国土交通省のホームページ等の気象・河川等の増水情報などのほか、気象庁予報官とのホットラインを最大限活用し対応している。ご質問の国のプロジェクトや予測システムについては、情報の収集に努め、その有効性や費用対効果などの様々な観点からの検討を進めてまいります。



ゲリラ豪雨・竜巻等予測の高度化と気象情報の提供(平成26年2月内閣府)



集中豪雨九州地方

1. がんの予防について

要旨 「国民健康保険データヘルス計画」ではがんを死因とする割合が54.1%と高い。がんを予防する観点から、がん検診、腫瘍マーカーによる血液検査について問う。また、がんの高額医療についても問う。

質問 「国民健康保険データヘルス計画」の死因の状況を見ると、羽村市は「主要6死因による疾患別死因構成割合」(平成27年度)で、がんを死因とする割合が54.1%を占め、東京都や同規模自治体や全国に比べ高い。原因と対策について問う。

市長 がんによる死亡が、他自治体と比べ高くなっている原因は、特定できないが、がんの主な原因としては、一般的に喫煙や飲酒、感染症などによるものと言われている。また、その対策としては、がんを早期に発見し、早期治療につなげることが大変重要で、定期的に検診を受診するよう、受診率の向上を目指した勧奨促進を図るとともに、栄養、運動、休養のバランスを重視した『健康料理講習会』や、保健と運動を組み合わせた『健康づくり教室』などの生活習慣の見直しに向けた事業にも取り組んでいく。



質問 市のがん検診での喀痰検査における条件は撤廃すべきと考えるが、いかがか。

市長 国の指針を上回る基準で実施しており、現時点において、条件を撤廃する考えはない。

質問 「乳がん検診」に対して、無料クーポン券対象者等以外は1600円の自己負担が必要である。無料化すべきと考えるが、いかがか。

市長 乳がん検診は、マンモグラフィ及び、視触診による検診を設備が整っている公立福生病院で実施している。自己負担については、公立福生病院の構成市町である、福生市、瑞穂町との協議の上、統一した金額で運用しているので、現時点において無料化する考えはない。

質問 腫瘍マーカーによる血液検査で、1回の採血で複数のがんについて調べる方法が確立している。羽村市の健康診査での実施を検討すべきと考えるが、いかがか。

市長 腫瘍マーカーによる検査は、国の指針には含まれていないが、進行したがんの動態を把握するなどの治療効果を判定するために活用されている。そのため、今後の国の動向に注視しながら、情報収集や医師会との意見調整を図り、実施に向けた検討を進めていく。

質問 今後、がんの高額医療により、国保の財政が厳しくなる可能性もあるが、どう考えるか

市長 がんに限らず、医療の高度化が進む中で、医療費全体は増額傾向にあり、高齢化の進展も相まって、市町村における国民健康保険財政は、一層、厳しくなるものと想定している。そのため、国では、持続可能な社会保障制度改革として、平成30年度からは都道府県が、財政運営の主体となり、スケールメリットを生かした安定的な財政運営や、効率的な事業の確保等、国民健康保険運営の中心的役割を担っていくこととしている。市としては、「羽村市国民健康保険データヘルス計画」に基づき、病気の早期発見、早期治療が促進されるよう、特定健診や、がん検診などの受診率を高めることで、医療費の抑制に努め、国民健康保険財政の安定化につなげたいと考えている。

2. 市道の愛称と公園の名称について

要旨 市道についている愛称名を普及・拡大すべきと考える。公園についても名称を見直し、表示看板も充実すべきと考える。また、公共施設への広告の設置とネーミングライツについても問う。

質問 市道のうち26の道路に、「愛称」が付けられている。その路線には「道路愛称名板」が、場合によっては「愛称名由来板」が設置されている。「防災マップはむら」にも愛称名を記載して普及すべきと考えるが、いかがか。

市長 昭和57年に主要道路及び、歴史的に由緒ある道路などの計26路線について、愛称名を募集し、「羽村町道愛称名選定審査会」において名称を付している。なお、「防災マップはむら」には、緊急輸送道路などの道路表示については、今後も検討を進めるが、市道の愛称名を普及させるために記載することは、馴染まないものと考えている。



質問 昭和57年以降、愛称の追加はしていない。愛称が付くことにより、地域の振興や愛着醸成にも寄与すると考える。愛称のついた市道をさらに拡大すべきと考えるが、いかがか。

市長 昭和57年以降、道路周辺の都市環境も変化してきており、道路愛称名を追加することについては、市民の皆様からの意見・要望等の把握に努め、調査・研究を進めていく。

質問 公園などの名称を見直し、今まで以上に市民にとって親しみやすい名称にすべきである。例えば、「児童公園」が付く公園は、児童遊園と混同しやすいので、「児童」を取って「公園」だけにした方が市民にとって覚えやすい名称となると考えるが、いかがか。また、けやき児童公園とけやき児童遊園は別の公園であるが、混同しやすい。片一方の名称を変更すべきと考えるが、いかがか。

市長 児童公園と児童遊園は、都市公園法と児童福祉法により設置の目的が区分されているもので、市の条例では、羽村市立公園条例と羽村市児童遊園条例において、それぞれの公園の位置や名称等を定めている。公園の名称については、公園の所在する地域や地名、公園の施設、樹木などの特徴から名称を定めており、地域に親しまれる公園として長年にわたり市民の皆様にご利用されていることから、地域に根付き、親しみを持っていただいているものと考えている。名称の変更については、市民の皆様からの意見・要望等も把握した上で、慎重に検討していく。



けやき児童遊園：表示板はない

質問 公園名の表示看板を現状より大きめに変更し統一すべきと考えるが、いかがか。また、公園名の表示看板をすべての入り口に設置すべきと考えるが、いかがか。

市長 公園名を表示する看板は、全て統一した形は困難であるが、今後は、公園の改修事業や老朽化による更新に合わせて、可能な限り、見やすく統一性のとれた看板を設置していく。

質問 広告の設置やネーミングライツについては、市が管理するすべての公共施設を対象に市役所内に一つの相談・受付窓口を設け、推進すべきと考えるが、いかがか。

市長 市では、要綱を定め、平成19年度から有料広告掲載の取組みを進めている。「東京都屋外広告物条例」などの関係条例を遵守しながら、広告媒体を発掘していく。また、相談・受付窓口については、今後も組織横断的な連携体制のもと、引き続き、取組みを推進していく。

区分	委員会	番号	案 件 名	採択・賛否等	
				新しい風	全体
市長提出議案		32号	羽村市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		33号	羽村市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		34号	羽村市障害者計画及び障害者福祉計画審議会条例の一部を改正する条例	賛成	可決
	補正予算	35号 ～ 40号	平成29年度羽村市一般会計補正予算(第1号)、国民健康保険事業会計(第1号)、介護保険事業会計(第1号)、西口土地区画整理事業会計(第1号)、下水道事業会計補正予算(第1号)、水道事業会計補正予算(第1号)	賛成	可決
		41号 ～ 49号	農業委員会委員の任命について、大野元雄、小作裕徳、石田正弘、下田邦男、中村勝司、清水亮一、石田博重、新井敏行、櫻沢富士夫 (敬称略)	同意	可決
陳情	総務	4号	「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の延長に関する陳情	採択	採択
	厚生	5号	圏央道の環境調査とNEXCOへの協議 に関する陳情書	趣旨採択	趣旨採択
	総務	6号	安倍首相に、国政の運営にあたり、「憲法擁護尊重義務」を守ることを求める意見書に関する陳情書	不採択	不採択
		7号	国民の理解を得ないまま、基本的人権を脅かす「組織的犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律の等の一部を改正する法律案」の強引な成立は止めて、審議のやり直し」を求める意見書に関する陳情書	不採択	不採択
議員提出議案		4号	駐留軍関係離職者等臨時措置法の延長に関する意見書	賛成	可決
		5号	東京都として国民健康保険料(税)の負担軽減のための財政出動等を求める意見書	賛成	可決
		6号	組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律の改正の強行採決に抗議する決議	反対	否決

29 陳情第5号

圏央道の環境調査とNEXCOへの協議 に関する陳情書 趣旨採択意見 高田和登

本年6月6日に羽村市産業環境部が「市による振動・騒音・排ガス調査と環境基準との照合・比較」を実施しており、陳情目的は達成されています。「NEXCOへの上記調査と改善策・協議の要請」は現時点ではその必要性は少ないと考えますが、交通量の増加は事実であり、昭和56年の決議や昭和63年の意見書にも周辺住民への配慮が記載されており、住民の気持ちに寄り添う対応が必要であり、「趣旨採択」が妥当と考えます。

議員提出議案第6号

組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律の改正の強行採決に抗議する決議

提出賛成議員(6名の議員) 大塚、山崎、水野、鈴木、濱中(順)門間

反対討論 小宮國暉

本決議案は、29陳情第7号の陳情書の要望意見に賛同し、本陳情の主旨を羽村市議会として決議しようとするものであります。しかしながら29陳情第7号は本定例会における総務委員会に付託され6月19日に開催の委員会において審議、審査され「不採択」になっております。当議案提出の監査委員を含む6名の議員は、自分たちの意見が通らず不採択となったにもかかわらず、「市議会として決議する」との方法で国会にて決めた事に抗議し、反対しようとするものであります。羽村市民の賛同が得られるか、疑問に思うところであり、本決議案に賛成することは出来ません。

村立西多摩中学から町立羽村中学への中学時代あれこれ

昭和31年東京都西多摩郡西多摩村は西多摩郡羽村町になり、村立西多摩中学校から町立羽村中学校になりました。校舎も小学校が同じ時期に東小と西小に分かれ、現在の西小の場所にあった中学が現在の一中に移転している。この移転には“大引越し作戦”が展開され全校生徒が椅子や机等を、徒歩やリヤカで運搬しており、石垣を築造する為多摩川の河原より石の運搬も行った事を覚えています。



旧校旗



現校旗

現在より東側に寄った校門を入ると、正面に来客用の車寄せがあり玄関口から北側渡り廊下の奥は、木造2階建ての教室や講堂がありました。

当時の羽村は、羽村堰より寺坂から羽村駅周辺にかけての町なみは現在より賑やかでした。小作駅近くには変電所や多摩川からの砂利運搬用の貨物引き込み線が伸びており、私も小作駅一日駅長として電気機関車のデッキに乗ったことが思い出されます。

町全体に活気があり特に“青年団”活動は盛んで、演劇コンクールが町唯一の映画館「錦亀館(きんきかん)」で行われました。近くの家や私の家の部屋も夜遅くまで支度部屋として使われ、家族同様の交流がありました。



中学校生活でのクラブ活動は柔道、剣道、吹奏楽部等がありクラスごとの合唱コンクールや生徒会活動も放送部や生徒総会等盛んでした。また福生中学への全校での遠征もあり現在の応援歌「日輪空にかがやきて-----」は当時の国語の谷村先生作詞、音楽の新開先生作曲で作られました。



校章デザインも絵画担当、福島先生により、羽村の“羽”の字を“つばさ”に模し羽村”中学3年の、「天翔くる日---」をと願って考案され、また旧校章は羽村の発展の基となる養蚕業での“桑の葉”であったと校章由来に記されています。

運動会の時の来客への接待(お茶出し)は女子生徒が行っており、当時の保護者は、子どもの運動会の手伝いどころではなかったと思われます。

昭和33年3月卒業の私達中学時代は校章、校歌に表れたように希望に膨らんだ時代でした。



70周年記念式典

金賞受賞一中吹奏楽部
玉川兄弟像前で演奏昭和33年卒業当時建立された
玉川兄弟像

“新しい風を明日のはむらに” ご意見・ご要望お待ちしております。

小宮國暉 事務所：羽東1-2-9
電話・FAX：042-554-1555
携帯電話：070-5594-7198
E-mail：k.komiya@t-net.ne.jp

高田和登 事務所：小作台3-15-3
電話・FAX：042-555-4700
携帯電話：080-6860-1211
E-mail：takadakazuto@gmail.com